

平成 29 年度（2017 年度）実施

県民意識調査報告書

山 梨 県 総 合 政 策 部
公益財団法人 山梨総合研究所

まえがき

少子高齢化の進行に伴う本格的な人口減少社会の到来、社会・経済のグローバル化や技術革新の進展など、本県を取り巻く情勢は、これまで以上のスピードを伴って、大きく変化しています。

このような状況の中、すべての県民が明るく希望に満ち安心して暮らせる「輝きあんしん プラチナ社会」の実現のためには、県民意識の動向を的確に把握し、時代の潮流を適切に読み取って、県民の視点に立った県政を推進することが重要です。

このため、山梨県では、県民の皆様の日常生活に関する満足度、当面する主要な課題に対するご意向、行政に対するご期待・ご要望などをきめ細かく把握する目的で、「県民意識調査」を定期的を実施しているところであり、今回で13回目の調査となりました。

今回の調査結果につきましては、これまでと同様、今後の施策展開や県行政の推進のため、積極的に活用していきたいと考えております。

本報告書が、本県の現状や県政課題に関して、県民の皆様により一層深くご理解いただくための一助となるとともに、行政関係者の方々にも広くご活用いただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係機関の皆様が心からお礼を申し上げます。

平成30年3月

目 次

調査の概要	1
第1章 県民生活の満足度	
1 質問項目と分析方法	10
(1) 質問項目の内容	
(2) 満足度の得点化	
(3) 満足度得点の標本誤差	
2 満足度の概観	14
(1) 「生活全般」の満足度	
(2) 「領域全般」の満足度	
(3) 「個別項目」の満足度	
3 「生活全般」の満足度	21
(1) 全県の年次別推移	
(2) 属性別の満足度	
4 「領域全般」の満足度	29
(1) 地域別・領域全般別の満足度得点	
(2) 地域別・領域全般別の満足度得点の対前回増減	
(3) 属性別・領域全般別の満足度得点	
5 「個別項目」の満足度	38
(1) 健康領域	
(2) 安全領域	
(3) 居住環境領域	
(4) 労働領域	
(5) 所得・消費領域	
(6) 教育・文化領域	
(7) 余暇領域	
(8) 福祉・連帯領域	
(9) 個別項目満足度のまとめ	
6 まとめ	55

第2章 主要な事項についての県民の選好度

- 1 「輝き あんしん プラチナ社会」実現の前提となる県民の意識…………… 57
 - (1) 定住意識
 - (2) 山梨県のよいところ、よくないところ
 - (3) 「豊かさ」のイメージ

- 2 行政の施策についての要望…………… 74

- 3 「ダイナミックやまなし総合計画」を推進する上での主要な課題や施策についての関心・要望…………… 79
 - (1) 地域産業の振興
 - (2) 農業の振興
 - (3) 環境の保全（日常生活において心がけていること）
 - (4) 環境の保全（行政に求めること）
 - (5) 観光の振興
 - (6) 国際交流
 - (7) 交通政策
 - (8) 地域福祉
 - (9) 保健医療
 - (10) 子育て支援
 - (11) 防災・災害対策
 - (12) 安全・快適な社会づくり
 - (13) 学校教育
 - (14) 文化・スポーツ・生涯学習
 - (15) 移住・定住の促進

- 4 公共施設整備についての要望…………… 140

- 5 期待する山梨県の将来像…………… 144

資料編

使用した調査票

集計結果は百分比（％）で表示した。

本文及び数表では小数点以下第2位を四捨五入した。その結果、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。（なお、複数回答項目については、個々の比率の合計と全体を示す数値〔回答計〕等とが一致しない場合がある）

本文中、「n」は回答者総数を示し、回答比率は原則としてnを100%として表した。